



www.hoseinet.or.jp
(法政大学校友会 HP)

ORANGE JOURNAL

法政大学 校友会報

よき師 よき友 つどひ結べり

Published by 一般社団法人 法政大学校友会

発行人：竹中 宣雄（校友会会長） 編集人：田崎 稔（校友会副会長）

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4 階

TEL：03-3264-1831 FAX：03-3264-4770 E-mail：jimukyoku@hoseinet.or.jp

第 24 号（通算431号）

目次	
新年のご挨拶	P 1
メタバースで体験！校友サロン	P 2
法政の受験生増に貢献する	
オープンキャンパススタッフたち	P 3
パートナーだより	P 4
オール法政ゴルフ大会	P 5
進取の気象 新山富左衛門さん	P 8
特集 本学出身アナウンス部長が語る	P 9
ソフトテニス部全日本大学対抗選手権優勝	P10
第31回全国卒業生の集い「福岡大会」	P12

校友会会長 新年のご挨拶



一般社団法人法政大学校友会
会長 竹中 宣雄

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は校友会活動へ、温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、2025年3月、母校法政大学は第21代総長にダイアナ・コー氏を迎えました。本学初の外国籍総長、そして田中優子氏に続く女性2人目の総長就任です。グローバル教育や多様な推進に尽力されてきた

母校法政大学は第21代総長にダイアナ・コー氏を迎えました。本学初の外国籍総長、そして田中優子氏に続く女性2人目の総長就任です。グローバル教育や多様な推進に尽力されてきた

女性活躍推進委員会第1回企画

だれもが輝ける社会をHOSEIから

2025年9月6日（土）、市ヶ谷キャンパスにて「法政フェア2025 in 市ヶ谷キャンパス」が開催され、卒業生をはじめとする多くの「法政ファン」がキャンパスを賑わしました。



校友会は今年度から始動した女性活躍推進委員会の第1回企画として「だれもが輝ける社会をHOSEIから」から一若手のキャリアデザインと女性活躍推進の視点で「と銘打ち、ダイアナ・コー法政大学総長の講演及び、野口みどり校友会副会長・女性活躍推進委員長（経営学部82年度卒業）、元北海道文化放送アナウンサーの石野智子氏（文学部18年度卒業）が加わってトークセッションを展開しました。石野氏の司会でスタートしたイベント冒頭のあいさつで竹中宣雄会長は「校友

会として重要な事業の一つ」として念願であった女性活躍推進の取り組みがスタートを切ったことへの期待に連れ、引き続き野口委員長は今後の展望を述べるとともに、参加者へ「ぜひ性別や年齢の雲（障壁）を取り払って行きましよう」と呼びかけました。

コー総長の講演「誰もかが輝ける社会」は、法政大学がいち早く声を上げた「ダイバーシティ宣言」やDEIセンター設立などの本学の先進的な取り組みが紹介されました。トークセッションでは、講演内容をテーマとしたトークのほか、事前に数多



く寄せられた質問への回答に3名が丁寧に答えました。「だれもが輝ける社会」のために法政大学ができることや、企業でダイバーシティ推進に取り組まれている方へのアドバイスに続き、「女性活躍推進」という概念への疑問についても、コー総長自らもいつも「言葉の表現に悩んでいる」と語る一幕も。大切なのは「すべての人に本当の意味で選択肢がある生き方」であることとしました。

最後は多数の質問に答え、たこともあり終了予定時間を過ぎたものの、ほとんどの参加者が席に残り、なお壇上のトークに耳を傾けました。また終了後も会場の熱は冷めやらず、コー総長

のもとに集まった参加者一人一人と対話する姿が見られました。

参加者からは「総長の話が分かりやすかった」「総長の端的な言葉に胸がすく思い」「在学生にも聞かせたい」「またもっと時間を取って開催してほしい」等の意見が寄せられました。

野口委員長は「今回を皮切りに、今後も『だれもが輝ける社会』を皆で考えていく企画を展開していきたい」と語りました。

法政フェアで校友会はこのほか卒業50年・40年・30年の方の懇親会、メタバース企画「メタバースで体験！バーチャル法政校友サロン」を開催し、好評を博しました。



（左から）高橋公ふるさと回帰・移住交流推進機構理事長、ダイアナ・コー法政大学総長、竹中宣雄法政大学校友会会長

法人化がもたらした組織の自立と透明性

―桑野秀光元会長に聞く 法政大学校友会の転機―

法政大学校友会は、2014年に法人化という大きな一歩を踏み出しました。校友の力を結集し、未来へと続く持続可能な組織へ―その歩みを桑野秀光元会長が語ります。

法人化にあたっては、それまでの大学や構成団体からの資金援助に頼らず、卒業生一人ひとりが会費を徴収して運営費に充て、財政の自立を図った。さらに、法人法の規律を受けることで透明性を高めようと考えた。

桑野元会長「法人化以前は『校友連合会』と称し、卒業生や地域校友会同士の親睦が主な目的だった。そうした会を根本から改め、大学・後援会・校友会が三位一体となり、法政大学の未来に貢献できる組織を目指す。続けていきます。

法政大学、同校友会およびふるさと回帰・移住交流推進機構（JOIN-FURUSATO）の連携に関する協定が、9月20日に締結されました。法政大学はJOIN-FURUSATOとの学校法人として初めての協定締結です。

JOIN-FURUSATOの増田寛也会長は「法政大学は、就職支援に関する協定を26の自治体と締結しています。U・イターン就職にも取り組んでいきます。さらに、この4月には研究科横断組織『地域創造インスティテュート』も開設したと聞きました。このような取り組みに法政大学憲章の『自由を生き抜く実践知』の精神を感じます。

また、8万3000人の会員、47都道府県にネットワークをもつ校友会との連携は、期待に満ちたものです。この協定を機に地方創生はさらに加速すると考えます。

まさに日本中の地域が再び『百花繚乱』のような輝きを取り戻せるように、我々もその一翼を、しっかり担っていきたいと思います。

この協定により、法政大学は

- ・地方再生という社会的な要請にこたえられること
- ・学生へ充実した地方就職の支援ができること
- ・地方での教育活動や地方を対象とした研究活動の充実化ができること
- ・地方を中心に優秀な学生の獲得につながる可能性があること

○法政大学校友会は

- ・ネットワークを生かし地方創生に貢献すること
- ・校友会正会員の地方移住・就職のニーズにこたえること
- ・卒業生と地域を結びつける活動を通じて、地域校友会の支援ができること
- ふるさと回帰・移住交流推進機構は
- ・学生、卒業生による移住を通じて、地域における有意な人材が増えること
- ・校友会ネットワークを活かした地域の受け皿の拡充
- ・地域課題に対する大学の知見を活かした実践的な共同研究など。
- ・三者はそれぞれ協定に期待しています。


大学と校友会が JOIN-FURUSATOと連携協定を

世代・地域を超えたオンライン交流の場！

「メタバースで体験！バーチャル法政校友サロン」


2025年9月6日(土)に大学主催のホームカミングデー「法政フェア」にて、校友会正会員サービスとして、校友会企画「メタバースで体験！バーチャル法政校友サロン」を開催しました。

1メタバースとは？



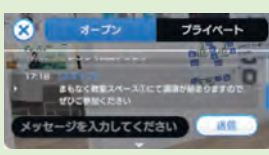
メタバースとは、インターネット上に構築された仮想空間のことです。人がコンピュータを使ってこの空間に集まり、活動ができます。参加者が「アバター」と呼ばれる自分の分身キャラクターを操作し、アクション操作やチャット、トーク機能を活用しながら、講演会や座談会、各種企画への参加、参加者同士での交流を通じて、校友同士のビジネスや趣味の繋がりを支援するための新たなサービスです。メタバースは、ご自宅などインターネット環境がある場所からPCやモバイル端末にてご参加いただけるため、時間や場所にとらわれずに参加できるのが大きな特長です。さらに、アバターを通じた交流は、世代や地域の垣根を越えて全国各地の校友が気軽に繋がることができます。

アクション操作



アクション(アバター写真) アクション一覧(一例)

チャット送信



チャット画面

29月6日法政フェア企画紹介

校友会として初めてメタバースを活用した本企画では、メタバース空間内の各スペースにて講演のライブ配信、講演者や参加者同士の交流会を実施しました。さらに、校友会の会員サービスや各種イベントの案内チラシの閲覧など、情報発信の場としても活用されました。メタバース内には主に6つのスペースがあり、一部の企画をご紹介します。

◆活躍する卒業生展示企画
「法政キャリアスナップ」(展示スペース)

このような企画があったら面白い！の声から実現した企画です。過去に卒業生インタビューで登場いただいた方や、現在、若手起業家として活躍されている方など、計10名の卒業生の多彩なキャリアや取り組みをおひとりずつパネル形式でご紹介。若手起業家やスタートアップに関わる方々のビジネスの繋がりを促進するとともに、校友同士の交流を一層深めることを目的として実施しました。



展示スペース

◆活躍する卒業生講演企画「自分らしく働く」をあきらめないAI時代のキャリアデザイン」(教室スペース)

活躍する卒業生の講演企画として、「一般社団法人シンママラボ」代表理事の佐藤笑美里さんにご登壇いただき、自身のキャリアや、現代社会におけるAIを活用したキャリアの磨き方、「自分らしく働く」という新たな選択肢についてお話しいただきました。講演後には、トーク機能を用いてメタバース空間内で参加者との交流会が実施され、講演内容に関する質問に加えて、社会人の時間の使い方やお子さんとの向き合い方に関する質問や意見が交わされ、校友同士の実りある時間となりました。



佐藤笑美里さん

2015年国際文化学部卒業。「シングルマザーをポジティブな選択へ」シングルマザー支援団体「一般社団法人シンママラボ」代表理事として、今までに50以上の対面・オンラインイベントの企画運営、のべ500名以上を支援。WEB制作オンラインスクールの専属コーチやキャリアアカウンセリング・コーチとしてもご活躍。



佐藤さん講演の様子



参加者同士の交流の様子

◆総長特別講演×卒業生とのトークセッション「だれもが輝ける社会をHOSEIから」ライブ配信(教室スペース)

法政フェア当日に実会場で行われた校友会企画「だれもが輝ける社会をHOSEIから」のライブ配信をメタバース上で限定配信しました。ダイアナ・コー総長による実体験を交えた「誰もが『等しく』活躍できる大学へ」のテーマでのご講演に加え、校友会副会長・女性活躍推進委員長の野口みどりさん、フリーアナウンサーとして活躍しながらキャリア支援を行う会社の広報を務める石野智子さんをお迎えして、総長と卒業生のトークセッションが行われました。詳しい開催報告は1面をご覧ください。



女性活躍講演トークセッション

◆法政土業の会提供！法政大学リカレント教育オフィス主催公開講座(教室スペース・学習スペース)

法政大学リカレント教育オフィス主催の法政土業の会の提供による公開講座のうち、2024年度に実施された「ヒト、モノ、カネ、情報を生かす経営基礎講座」についてアーカイブ配信を行いました。法政土業の会協力のもと、本講座ではビジネスの基本要素である「人、物、金、情報」の活用や実践について、卒業生で各土業の専門家がわかりやすく解説しています。

また、学習スペースでは2025年度の公開講座「起業家のためのステップアップ講座」のご案内を掲載。今後も法政土業の会、法政大学リカレント教育オフィスと協力し、社会人の学びなおしに役立つ情報を発信していきます。



リカレント教育公開講座 2024 サムネイル

3参加者の声


参加者からは、「アバターが可愛くて、気軽に交流しやすい」「普段なかなか関わることのない世代の方と気軽に話すことができた」「アクション操作を促すような仕掛けがあると面白い」などの声が聞かれました。初の試みとなる本企画は、卒業生同士の新たなネットワークの構築や、帰属意識・連帯感の醸成に繋がるような、世代・地域を超えたオンライン交流の場となりました。

4メタバースは校友会正会員ならどなたでもご参加可能！

校友向けメタバースは2026年1月まで試験的に運用し、過去に実施した校友会イベント(一部企画)のアーカイブ配信や、校友会の歴史を感じられる企画、ビジネスや趣味、学びなおしに活かせる新たな企画・情報発信等を行います。メタバースの参加には、指定のIDとパスワードが必要です。企画実施の前に企画紹介や申込方法を、校友会Webサイトや各種SNSで告知しますので、ぜひご参加ください。多世代の方に楽しんでいただける空間を構築していきます。※2010年4月以降入学者で、2014年3月以降の学部卒業生(通学課程)は、卒業と同時に校友会の正会員です。

5おまけ(スタッフ裏話)

スタッフ同士でカラーライトを振ってみました。「推し活」もできそうです！



カラーライトは色が変化します

2025年度予算および2024年度決算について

2025年度予算(正味財産増減計算ベース)

2025年4月1日から2026年3月31日まで (単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	11,100,000	400,574	10,699,426
受取会費	195,000,000	186,030,000	8,970,000
新卒終身会費	180,000,000	178,140,000	1,860,000
既卒終身会費	15,000,000	7,890,000	7,110,000
事業収益	29,000,000	29,216,988	△ 216,988
受取寄付金	100,000	0	100,000
雑収益他	1,000,000	1,598,666	△ 598,666
経常収益計	236,200,000	217,246,228	18,953,772
(2) 経常費用			
事業費計	31,500,000	31,899,078	△ 399,078
管理費計	77,200,000	73,618,504	3,581,496
経常費用計	108,700,000	105,517,582	3,182,418
当期経常増減額	127,500,000	111,728,646	15,771,354
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増減額	127,500,000	111,728,646	15,771,354

2024年度正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで (単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	400,574	0	400,574
受取会費	186,030,000	194,235,000	△ 8,205,000
新卒終身会費	178,140,000	184,830,000	△ 6,690,000
既卒終身会費	7,890,000	9,405,000	△ 1,515,000
事業収益	29,216,988	27,915,072	1,301,916
受取寄付金	0	0	0
雑収益他	1,598,666	1,304,253	294,413
経常収益計	217,246,228	223,454,325	△ 6,208,097
(2) 経常費用			
事業費	31,899,078	31,210,781	688,297
管理費	73,618,504	69,050,374	4,568,130
経常費用計	105,517,582	100,261,155	5,256,427
当期経常増減額	111,728,646	123,193,170	△ 11,464,524
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
貸倒損失	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	111,728,646	123,193,170	△ 11,464,524
一般正味財産期首残高	1,431,289,483	1,308,096,313	123,193,170
一般正味財産期末残高	1,543,018,129	1,431,289,483	111,728,646
II 指定正味財産増減の部	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,543,018,129	1,431,289,483	111,728,646

2024年度 貸借対照表

2025年3月31日現在 (単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産合計	364,618,989	357,252,004	7,366,985
固定資産合計	1,397,399,227	1,281,269,000	116,130,227
資産合計	1,762,018,216	1,638,521,004	123,497,212
II 負債の部			
流動負債合計	219,100,087	207,231,521	11,868,566
負債合計	219,100,087	207,231,521	11,868,566
III 正味財産の部			
正味財産合計	1,543,018,129	1,431,289,483	111,728,646
負債及び正味財産合計	1,762,118,216	1,638,521,004	123,597,212

実質志願者増1・2位を維持するオープンキャンパス活動の主役たち



少子化により定員割れの大学が少なくない中、ここ数年の法政大学は実志願者ランキングで常に上位となり話題を呼んでいる。それは大学公式広報活動であるオープンキャンパスによる効果が大いと言えるのではないかと。2025年度オープンキャンパス学生スタッフ代表の山内聖也(やまうちせいや)さん(人間環境学部3年)と、副代表の山本佳恵(やまもとよしえ)さん(国際文化学部3年)、副代表の宮澤彩絵(みやざわさえ)さん(人間環境学部3年)に話を聞いた。(校友会事務局 鶴岡)

同じ志をもつ仲間との出会い

Q.オープンキャンパススタッフになられた理由を教えてください。

山内 高校では生徒会に所属し、中学生の体験入学を通して「誰かの背中を押したい」という気持ちが強かったからです。

山本 高校生の時に法政大学のオープンキャンパスを訪れて、励ましの言葉をいただきました。私もこの大学で学生スタッフとなつて、「受験生(高校生)の進路選択の一助となるような存在になりたい」と思いました。

宮澤 ご縁があった法政大学で「自分と同じ熱量の仲間と出たい」という気持ちが強かった時にスタッフ募集を知り、色々な学部学年の人と関わるのは楽しそうと心が動いたことがきっかけです。

全スタッフの心に刻まれる言葉

Q.2025年度のスタッフスローガンと背景を教えてください。

宮澤 「スポットライト」です。これまでの経験から、色々な企画のスタッフができたことに取り組み、オープンキャンパスが成り立つことを実感しました。来場者と学生スタッフの仲間たちに「スポットライト」を当てて、色々な可能性を見出したい、スタッフの活動しやすさを考えるきっかけにしたいと思い、皆で話し合っていました。

経験を糧に

Q.1・2年次の活動内容と、印象に残っている経験を教えてください。

山内 私が所属していた個別相談企画では、来場者からの様々な相談に対応し、目的なく来る方には大学に興味を持ってもらえるように話します。熱心にメモを取られる保護者の方が印象的で、お子さんが勉強しないなどの相談も受けます。事前に、スタッフ間で想定質問集を作成し共有して臨んでいます。



山本 私は国際文化学部企画に所属し、冊子班や学部学科説明会班を担当しました。特に説明会は、薩埵ホールで学生自ら学部を紹介し、約800人の前で話すことはとても貴重な経験でした。保護者の方から、説明がとても良かったと声をかけていただき、印象に残っています。



宮澤 私が所属していたキャンパスツアー企画では、学部学年交えながら練習を行い、ツアー内容を作っていきます。1年次は目の前のことに精一杯だったのですが、2年次はより良いツアー内容にするために「誰よりもフィードバックを出そう」と目標を決め活動に励んだところ、尊敬する先輩から、「誰に対してもよくフィードバックをしてくれるね」と声をかけていただきました。企画に対して自分自身が役に立つことができたのかなと実感した瞬間でした。



スタッフ280人をまとめる存在へ

Q.なぜ代表陣(代表・副代表)になられたのですか

山内 代表は、どの企画にも属さないからこそ、客観的に見られる立場で、全体を繋ぐ存在として、色々な企画を実現させたい気持ちが強かったからです。合宿では多くの友人ができ、自分は狭い世界にいたことを実感しました。来場者のためにスタッフ同士でより連携したいという思いがありました。

山本 今まで自分の企画だけに集中し、他企画のスタッフと連携できない心残りを感じていたのですが、徐々に他学部を理解することができ、外の世界を見てみたいという思いがありました。色々な人の考え方を聞くのが好きで、新しいことに好奇心があり、人と人を繋ぐ存在になりたかったからです。

宮澤 私はキャンパスツアーが好きで、日々とても楽しく、活動に満足していました。2年

次は自分なりに企画にどう還元できるかを考え活動していたのですが、オープンキャンパス全体に還元できたらどんなに良いだろうと思い、全体をサポートしてみようと考えようになったのが一番大きな理由です。

Q.代表陣としての活動はいかがでしたか。

山内 素晴らしい仲間に出会い、代表として多くのことを実現でき、人生で一番濃い時間でした。特に取り組んだのは、全体会の改善です。「企画理解」というテーマで、各リーダーが自分の企画について説明をするのですが、14企画もあると集中力が切れてしまいます。今回は思い切って、クイズ形式の説明動画を制作しました。朝早くから各リーダーの協力を得て撮影し、初めて動画編集にも挑戦しました。スタッフからとても好評で、やってよかったです。



山本 代表陣だからこそ関わられた仲間がいて、一人ひとりの考え方を知ることができました。私は特に、他の代表陣やリーダーの提案内容の実現に向けたサポート役に徹しました。各スタッフが1人で抱えていることがあれば、活動状況のヒアリングをし、何か手伝えることがあれば連絡してねといつでも話せる存在であることを心掛けました。あるスタッフからは感謝の手紙をもらい、とても嬉しかったです。

宮澤 副代表に挑戦したからこそ、0から1を生み出せる人、アイデアをどう形にできるか考えられる人など多くの優秀な仲間に出会えたことはとても刺激的で、やる気をもらえる本当に濃くて楽しい期間でした。当日は来場者の動線に苦労した時もありましたが、各スタッフで連携を取り、企画終了後には「学生の生の声を聞くことができてとても良かったです。雨の中来て良かったです。」という声をいただきました。何よりも「来て良かった」という言葉が嬉しく、今まで頑張ってきて良かったと報われた気持ちになりました。



4年次、集大成に向けて

Q.今後のご自身の目標をお聞かせください。

山内 2025年度はスタッフを楽しませることを目標に活動していたのですが、様々な場面でとても楽しかったと言ってもらえたことが、やりがいを感じる瞬間でした。授業や受験制度についてはもちろん、それ以上に来場者は学生の姿をよく見ており、大学や進路を決めるうえでの選択肢となり得ると思います。いかにスタッフや来場者を楽しませるかを考え、今後も活動を続けて行きたいです。

山本 私は、人の悩みに寄り添えるような存在を目指して活動をしてきました。アドバイスをしたスタッフから感謝の言葉をもらい、自分がその人のモチベーションになれたことが嬉しかったです。今後も、人に寄り添うことを大切に活動していきたいです。

宮澤 各スタッフが熱意をもって活動してくれることを強く実感した年でした。2026年度はキャンパスツアー企画で4年間の集大成としてのツアーづくりや、スタッフが困った時に頼れる存在になりたいと思います。他の企画との繋がりも大切にしていきたいです。

繋ぐ熱い思い

Q.後輩の皆さんへ期待することをお聞かせください。

山内 一番期待しているのは、オープンキャンパスの熱を切らさないでほしいということです。「自分や自分の代だけが楽しい」ではなくて、次の世代のスタッフや来場者に気持ちのバトンを繋いでほしいです。

山本 先輩がやっていたからではなく、その学年の新しい魅力を大事にしてほしいなと思います。

宮澤 来場者第一のオープンキャンパスは大前提として、スタッフとしての日々を存分に楽しんでほしいです。スタッフのワクワクした姿は来場者に伝わるといいます。準備期間も当日も、今できる全力のことを追求し、楽しみながら活動してほしいです。

ESSAY

校友随想

“法政おおわが母校”を卒業して幾年。各方面で活躍し、その後の人生模様を寄稿願った。



中武 宣廣

'90年 経営学部
経営学科

学びが導いた
グローバルエンタメへの道

1986年、法政大学経営学部に入學しました。当時はバブル経済の熱気と高揚感に包まれた時代で、決して真面目な学生とは言えませんでした。そんな中、就職活動の目標が定まらずにいた私に対し、当時メ

ディア業界で活躍されていた本学OBの方々と事務局の皆様から多くの指導をいただきました。その経験が、現在の仕事へとつながる大切な原点となりました。忘れられない学びと出会った時間だったと、今も深く感謝しています。

現在はソニー・ミュージックにて海外事業推進を担当しています。近年、アニメ・音楽・ゲームなど日本のエンターテインメントコンテンツが世界で高く評価され、半導体や鉄鋼を上



田牧 聡志

'91年 工学部
機械工学科

波に学び、人に学ぶ
サーフィンから医療の道へ

大学時代は非公認の法政大学サーフィン部に所属し、勉強よりも部活動と塾講師のアルバイト中心の生活を送り、成績は学科内で最下位、3年生を2回経験しました。サーフィンは「チャライ」と思われがち

ですが、実際は寒く、恐ろしく、非常に厳しいスポーツであり、法政大学サーフィン部は学生選手権にも出場する本格派チームでした。多彩なOBの中でも、鎌倉・逗子で動物病院を経営する獣医師・宮田登夢先生との出会いが医師を志す転機となりました。

学内で知り合った家内(日本文学科卒)から背中を押され、自分を追い込む形として受験半年前に会社



戸澤 理紗

'20年 理工学部
創生科学科

星降る里・星野村で見つけた原点

2019年、法政大学理工学部創生科学科3年のとき、天文文化の調査でゼミ仲間と福岡県八女市星野村を訪れました。自然豊かな里山と満天の星に心を奪われ、村の方々の温かい人柄にも惹かれて、何度も足を

運ぶようになりました。4年生の夏には1か月間滞在し、ゼミ仲間と共同生活を送りながら卒業研究に取り組みました。まさに「自由を生き抜く実践知」を体験する日々であり、私にとって大きな転機点となりました。

この経験がきっかけとなり、卒業後は星野村に移住。現在は八女市観光協会星野支部の事務局に勤務し、地域活性化や観光振興に携わっています。

「福岡大会」の記念講演では、星野村での取り組みを紹介しました。多くの方々から温かい励ましの言葉を頂戴し、改めて地域に貢献できる喜びを感じております。

これからも、星野村の魅力発信と地域の持続的な発展に尽力してまいります。(福岡大会の要旨は12ページ)

PARTNER NEWS

パートナーだより

文学部同窓会

「荻外荘公園」に行く
文学部同窓会では、(特別企画)として、毎年春と秋に都内・近郊散策を行っています。



荻外荘前で(中央が井坂・元会長)

11月7日(金)、本会の井坂義雄・元会長(本学名誉教授)にご参加いただき、杉並区の「荻外荘(てき)

いそう公園を訪ねました。午後1時、中央線「荻窪」駅に集合後、10分ほど歩いて荻外荘公園に着きました。荻外荘公園は、昭和前期に総理大臣を務めた近衛文麿の邸宅(荻外荘)を杉並区が取得して、令和6年、公園として整備・公開しました。建物は、昭和2年、建築家の伊東忠太の設計に基づいて建てられ、昭和12年、閑静な環境と宏大な建物を気に入った近衛文麿が購入して「荻外荘」と名付けました(命名者は西園寺公望)。

日本が第二次世界大戦に突入する前年、この荻外荘で関係関係が集まって重要な国策の決定が行われた、という係員の説明を聴きながら、

経済学部同窓会

貴重なトキや金探掘跡を見学した佐渡島旅行
2025年7月8日より2泊3日で、経友会有志で佐渡島旅行に出かけました。新潟港より1時間で西津



定期総会・講演会・懇親会を開催
6月21日(土) 15時より、市ヶ谷キャンパスにて、2025年度経済学部同窓会定期総会・講演会・懇親会を開催しました。

2日目は世界遺産の佐渡金山を見学。江戸時代の初めから昭和の終わりまで約400年間、金の採掘が行われていました。世界遺産

の、江戸時代の手掘りの再現場所を見ることができ、よくここまで人の力で掘り進むことができた感動しました。



その後開催された懇親会では、来賓・教授陣・在学生も参加し、こちらも楽しく行われました。経済学部学術ゼミナール委員会からも現役学生さんが5名も参加いただきました。各自の

出身高校や進路についての話し合いがあり、委員会において企画検討している発表会について同窓会への支援依頼がありました。

高等学校同窓会

2025年度総会開催報告
2025年度法政大学高等学校同窓会総会が、7月5日(土) 午前11時より、法政大学富士見ゲート3階カフェテリア「つどひ」にて盛大に開催されました。

当日は73名の同窓生が集い、旧交を温めながら、母校への想いを新たにするとともに、総会では高村嘉昭会長の挨拶に始まり、各議案は満場一致で承認されました。続いて、4月より新たに就任された植月校長先生よりご挨拶を賜り、母校の現況と将来への展望について温かい言葉をいただきました。さらに、講演では第36

期卒の梶謙治様(市谷亀岡八幡宮第18代宮司)より、神職としてのご経験を交えた興味深いお話を拝聴し、参加者一同深い感銘を受けました。

懇親会では、法政大学業務執行理事・田中修司様、一般社団法人法政大学校友会副会長・中村寿美子様よりご祝辞をいただき、和やかな雰囲気の中で歓談が進みました。その後、第18期卒のエンターテイナー・せんだみつお様によるトークショーが行われ、軽妙な話術と温かい人柄に会場は笑いと拍手に包まれました。

フィナーレは、法政大学応援団・第100代団長の布施拓真様のリードのもと、参加者全員が肩を組み、校歌を斉唱。「フレイフレー」の力強いエールが響き渡り、会場は一体となって感動的な幕締めを迎えました。来年の総会での再会を期して散会となりました。

富山県校友会

令和7年度法政大学富山県校友の集い
令和7年8月9日(土)、富山市のANAクラウンプラザホテル富山において「法政大学富山県校友の集い」が開催された。

この校友の集いは、オール法政の力を結集し法政の名を高めることを目的に、平成26年から後援会富山県支部との共催により総会および公開講演会、懇親会を行っている。

総会では、令和6年度事業報告として、本県で毎年開催している「富山県東京六大学が集い」において、当校友会が幹事校として六大学中最多の参加者を動員するとともに、当校友会が代表を務める「越中大島太鼓振興会」が和太鼓のパフォーマンスを披露し大変好評を得たことなど、実施事業の内容及び収支決算を報告するとともに、令和7年度事業計画と収支予算を審議した。

公開講演会には、講師として、法政大学経済学部教授で1992年のバルセロナオリンピックで100m走および4×100mリレーに出場された杉本龍勇氏を招いた。「経済とスポーツの関わり」の演題で行われた講演には、校友会、後援会員はもとより、多く

最後に、参加者一同肩を組んで声高らかに校歌を斉唱し、盛会の内に幕を閉じた。(参加者は総勢50名) (富山県校友会 事務局 青山哲也)

約70名が耳を傾けた。懇親会では、山地清会長から「今後も様々な活動を通じて会員の輪を広げ、富山県校友会を更に発展させよう」という趣旨の挨拶があった。続いて、来賓の挨拶として、澤村教伸大学業務執行理事・副学長、石渡洋行校友会副会長から、大学・校友会を取り巻く現状と課題などについて語られたほか、今年の春の叙勲で瑞宝双光章を受章した五十嵐信夫監査への記念品の贈呈が行われるなど、世代を越えた校友同士の親睦が深められた。

SERIES

校友会紹介

来年の全国卒業生の集いは長野大会

牛に引かれて善光寺参りのご縁を紡ぐ
秋色の信州で深まる絆と友情
来秋、令和8年10月23日(金)から25日(日)に『第32回全国卒業生の集い 長野大会』を「牛に引かれて善光寺参り」の地、長野市で開催します。

この縁は、「自分の意志ではなく、偶然的出来事や他人の誘いによって、良い方向に導かれること」を意味します。長野大会参加をご縁に更なる絆、「よき師よき友つどひ結べり」を深めていたけましたら幸いです。

4支部が心をひとつに

長野県は、南北に長く、面積の広

い県で、私も校友会の活動は、長野法友会、松本法友会、南信法友会(諏訪市、伊那市、飯田市等)と東信法友会(上田市、佐久市、小諸市等)の4つの支部ごとに行われています。各支部の恒例行事としては、1月の軽井沢バス事故現場慰霊献花、6月の東京六大学合同同窓会、9月の陸上競技部駅伝チーム菅平高原合宿激励や大学対抗ゴルフコンペなどがあります。

県歌『信濃の国』を歌う時だけ、同じ長野県人を意識する県民性ですが、長野大会を引き受けるにあたり、4つの支部が一致団結し、実行委員会を組織しました。

信州ならではのおもてなし

秋の信州は、3000m級の山々に初雪が降り、里の紅葉が一層鮮やかになる季節。さらに新米や新そば、りんごや松茸などの味覚も揃いますので、信州らしいおもてなしにご期待ください。

他県同様、会員の高齢化などの課題を抱える長野県校友会ですが、卒業生の集い開催を機に若手卒業生の掘り起こしや勧誘を進めて参ります。多くの法政大学関係者のご来県、心よりお待ちしております。

(長野県校友会会長・全国大会実行委員長 木内 均)



駅伝チーム菅平高原合宿激励会(激励金・地元特産品ブルーベリー贈呈)



令和7年度法政大学富山県校友の集い
令和7年8月9日(土)、富山市のANAクラウンプラザホテル富山において「法政大学富山県校友の集い」が開催された。



令和7年8月9日 令和7年度 法政大学富山県校友の集い 於 ANAクラウンプラザホテル富山

SERIES パートナー組織紹介

全国の校友が集い、法政の絆を深める――

2025年9月8日(月)、千葉県興のキングフィールズゴルフクラブにて「第24回オール法政ゴルフ大会」総長杯が開催され、全国各地から多くの校友が集まりました。

当日は、体育会ゴルフ部の学生も大会運営をサポートし、プレー前には参加者へアドバイスを行うなど、円滑な進行に大きく貢献しました。

見事優勝に輝いたのは、千葉県校友会千葉中央支部



「オレンジの旗と笑い声に包まれて――初めてのオール法政ゴルフ大会」

初めて参加した校友会のゴルフ大会。クラブハウスに足を踏み入れると、そこはまさに「法政ワールド」。オレンジの旗がはためき、校歌や応援歌が響き渡る――気分は一瞬で学生時代にタイムスリップしたようでした。あの頃より体は重く、クラブは軽くなった気がしますが(笑)、テンションだけは青春真っ盛り。

ラウンドが始まると、「学生棟に集まってたなあ」「

食のバグバグランチ、旨かったよな」など、法政語「があちこちから飛び交い、私のボールより会話のほうがよく転がること転がること。スコアは伸びませんでしたが、笑い声だけはハンディ不要の絶好調。49歳にして「若手」という不思議な立場に、法政の歴史と層の厚さを改めて感じました。

懇親会は初対面とは思えないほど懐かしい雰囲気



練習指導してくれたゴルフ部員たち

第24回オール法政ゴルフ大会「総長杯」開催



B・O・G会では、現役クラブ員への物心両面の支援をはじめ、アマチュア競技スキーマチ基礎スキーマチの技術向上、会員相互の親睦を目的として活動を行っています。

毎年開催される総会・懇親会は、現役クラブ員との交流をはじめ、OB・OG同士の親睦の場としても親しまれています。黎明期からのメンバー(85歳前後)から若手まで、年齢差約65年の幅広い世代が集う、和やかで活気ある会となっております。

今後は、校友会正会員の増員に注力し、「オール法



講師の川島先生：スライドの左側にはワイン分析、右側には企業分析の評価。

短時間ながらも、ワインに詳しい方から初心者まで、

研修後の懇親会では、ワインと食事のマリアージュについて、具体的に分かりやすい解説を交えながら、実践的に学ぶ機会となりました。



2026.3.15 13:00開演

厚木市文化会館 小ホール

◆前売 2,500円・当日 3,000円

◆法政大学神奈川校友会 事務局長：大崎隆雄

◆厚木市文化会館チケット予約センター 044-224-9999

お問い合わせは 法政大学神奈川校友会 事務局長：大崎隆雄 090-7254-4063

神奈川県校友会 厚木で響く懐かしの名曲 第4回「昭和歌謡コンサート」開催

神奈川県校友会が主催する「昭和歌謡コンサート」は、県内各地を持ち回りで開催しており、今回で第4回を迎えます。

(幹事長 大崎隆雄)

毎回、校友をはじめ多くのお客様に参加いただき、ご好評をいただいている人気企画です。

今回は厚木法友会が主管となり、厚木市文化会館で開催いたします。

懐かしい昭和の名曲に耳を傾けながら、校友の皆さまと心温まるひとときをお楽しみください。

多くの皆さまのご参加・お申し込みをお待ちしております。

法政大学レインディアス ―65年の歩みとこれから―

法政大学レインディアス キークラブは、2023年1月に校友会パートナー組織として承認されま

した。当クラブは1960年に発足し、65年にわたり活動を続けてまいりました。O

公認会計士法友会 「会計専門家のためのワインテイスティング入門」開催

公認会計士法友会では、年2回、会員向けの研修会を実施しています。今年度第1回目は、令和7年9月1日に開催されました。講師には、本学経営学部教授であり高度会計人育成センターセンター長、さらに日本ソムリエ協会ワインエキス

パートでもある川島健司先生をお迎えし、「会計専門家のためのワインテイスティング入門」と題してご講演いただきました。

(事務局長 河西正之)

幅広い受講者にとって有意義で、まさに「大変お得な」研修となりました。

- 〈叙位・叙勲〉
- 旭日大綬章 高市(山本)拓氏(元農林水産副大臣) 77年文学部卒
 - 旭日双光章 藤森元前氏(元藤森運輸(株)代表取締役) 77年経営学部卒
 - 旭日単光章 浅野時栄氏(現 南野製作所代表取締役社長) 77年経営学部卒
 - 瑞宝中綬章 佐藤典人氏(法政大学名誉教授) 70年文学部卒、76年人文科学研究科満期退学、92年博士(文学)学位取得
 - 瑞宝小綬章 今井安德氏(元公立高校校長) 76年法学部卒
 - 瑞宝双光章 友末一郎氏(元警視正) 76年法学部卒
 - 藍綬褒章 渥美哲夫氏(現 保護司) 73年社会学部卒
 - 〈知事・市長〉 埼玉県越谷市長 福田晃氏(ふくだあきら)
- 〈叙位・叙勲〉
- 98年法学部卒 25年11月11日 2期目
 - 〈新社長〉 三重テレビ放送(株) 田中達也氏(ななかたつや) 88年社会学部卒
 - 愛知県出身、60歳 25年6月19日就任
 - OSAFホールディングス(株) 左奈田直幸氏
 - (さきたななおき) 84年経済学部卒
 - 東京都出身、63歳 25年6月24日就任
 - 〇テモナ(株) 本多涉氏(ほんだわたる) 97年法学部卒
 - 佐賀県出身、51歳 25年10月1日就任
 - 〇CARTA HOLDINGS 渡辺英樹氏(わたなべひでき) 96年社会学部卒
 - 千葉県出身、52歳 25年12月11日就任
 - 〇アストモスエネルギー(株) 佐藤利富氏(さとうとしのぶ) 91年経営学部卒
 - 東京都出身、58歳 26年1月1日就任
- 〈訃報〉
- 〇小野瀬敬二氏(60年法卒) 23年9月没・享年86歳
 - 〇日向和子氏(68年法卒) 23年12月没・享年78歳
 - 〇石谷行雄氏(70年法卒) 24年10月没・享年77歳
 - 〇万代憲正氏(15年法卒) 25年5月没・享年64歳
 - 〇鯉田四郎氏(53年法卒) 25年6月没・享年97歳
 - 〇久保田幸三氏(65年法卒) 25年6月没・享年83歳
 - 〇盛田英俊氏(79年法卒) 25年7月没・享年70歳
 - 〇荒木暢也氏(社会学部教授) 25年10月没・享年68歳
 - 以下会員様没年・享年不明
 - 〇岡田利克氏(51年法卒)
 - 〇松本光雄氏(53年法卒)
 - 〇中溝秋嗣氏(54年法卒)
 - 〇渡辺眞生氏(58年法卒)
 - 〇齋藤勇雄氏(63年法卒)
 - 〇小野昭氏(64年法卒)
 - 〇佐藤平治氏(65年法卒)
 - 〇熊谷和年氏(79年法卒)
 - 〇中林美代子氏(79年法卒)

謹賀新年



卒業生の皆様
本年もよろしくお願ひします



法政大学校友会名誉会長 法政大学 総 長 ダイアナ・コー	法政大学2号評議員(評議員会副議長) 法政大学校友会 副会長 木嶋伸一	法政大学 業務執行理事 副学長 佐野哲
法政大学校友会 会 長 竹中宣雄 法政大学3号評議員(評議員会議長) 社会学部1972年卒	法政大学2号評議員 法政大学校友会 法政大学応援団OBORG会 副会長 野口みどり 経済学部1981年卒	法政大学 業務執行理事 副学長 松尾由賀利
法政大学校友会 副会長 田崎稔 経済学部1979年卒	法政大学校友会監事 参 与 桑原政昭 社会学部1976年卒	法政大学 業務執行理事 副学長 田中豊
法政大学理事 法政大学校友会 副会長 三井和夫 経済学部1978年卒	法政大学校友会 法政士業の会・法政会計人会 監 事 発地敏彦 発地敏彦税理士事務所 経営学部1976年卒	法政大学 業務執行理事 副学長 澤柿教伸
法政大学校友会 副会長 中村寿美子 法学部1981年卒	公認会計士法友会 法政大学校友会 監 事 飯塚昇 経営学部1974年卒	法政大学 業務執行理事 副学長 橋本宏美
法政大学校友会 副会長 石渡洋行 法学部1983年卒	法政大学1号評議員 法政大学校友会 監 事 沖田吉史 法政大学法人統括本部長 経済学部1990年卒	法政大学 業務執行理事 副学長 田中修司
法政大学校友会 副会長 岡本眞司 経営学部1970年卒	法政大学校友会 監 事 坂本考史 法政大学後援会事務局長	法政大学理事 法政大学応援団OBORG会 会 長 長裕章 経済学部1985年卒
法政大学校友会 副会長 池谷文雄 法学部1980年卒	法政大学 代表業務執行理事 副学長 小秋元段	法政大学校友会 名誉顧問 名譽顧問 佐々木郁夫
法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 田中利幸 経営学部1982年卒	法政大学 代表業務執行理事 副学長 西田幸介	法政大学校友会顧問 法政大学校友会北海道ブロック 理 事 西岡憲廣 札幌山の手高等学校理事長・校長 法学部1963年卒

賀春

一般財団法人
法政大学経営者懇談会

これからの日本を背負うのは中小企業の経営者達です。企業経営者、学生経営者、起業家、後継者たちが会員です。
幅広い業界、校友をはじめとして有意義な活動と一緒にしませんか！入会をお待ちしています。

代表理事 山崎岳士
ご入会お問い合わせは以下事務局まで
〒175-0083 東京都板橋区徳丸4-11-2 中尾建設工業(株)内
Mail: hoseikeieisya@gmail.com
Web: http://hosei-keieisya.com/

謹賀新年

法政財界人倶楽部

法政財界人倶楽部は設立30周年を迎えます。
上場企業の「役員・執行役員」会員(現在263名)に加え、「部長職・課長職」会員(現在153名)の入会も受け付け中です。
法政財界人倶楽部事務局まで申し込み連絡をください。

会 長 村田 紀敏 昭和41年卒
(株)セブン&アイ・ホールディングス 元COO兼代表取締役社長
連絡先 法政財界人事務局 副会長 佐々木郁夫
TEL 03-3369-0804 担当 矢賀部・齋藤

迎春

法政大学後援会

～子どもの母校は我が母校～

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4階
TEL. 03-3264-9392



法政財界人倶楽部

会 長 村田 紀敏
(株)セブン&アイ・ホールディングス 元COO兼代表取締役社長

法政財界人倶楽部 副会長 山口 学
(株)関電工 元取締役会長

法政財界人倶楽部 副会長 佐々木 郁夫
(株)日本共同システム 代表取締役会長
(元明治安田生命専務)

法政財界人倶楽部 副会長 潮崎 敏彦
文化シヤッター(株) 代表取締役会長

法政財界人倶楽部 副会長 竹中 宣雄
ミサワホーム(株) 元代表取締役社長

法政財界人倶楽部 副会長 鈴木 和夫
ライト工業(株) 特別顧問

法政財界人倶楽部 副会長 堰 八義博
(株)北海道銀行 特別顧問(元頭取)

法政大学校友会顧問・北信ブロック理事 富山県校友会 特別顧問 松井幹夫 法学部1964年卒	法政大学校友会近畿ブロック理事 滋賀県校友会 会長 外池國夫 経営学部1976年卒	法政大学女子・国際高等学校同窓会 会長 中村美津江	京都府校友会 会長 徳島環 工学部1986年卒	法政大学教職員校友会 会長 藤田真文
法政大学校友会 顧問 井上泰一 法学部1969年卒	法政大学校友会四国ブロック理事 愛媛県校友会 顧問 渡辺易廣 工学部1975年卒	秋田県校友会 会長 渡邊光 社会学部1979年卒	あけましておめでとうございます 奈良県校友会役員一同	法友体育会 会長 笠井淳 経済学部1976年卒
法政大学校友会 顧問 小林清宣 法学部1975年卒	法政大学校友会北九州ブロック理事 長崎県校友会 岡村康司 経営学部1982年卒	山形県校友会 会長 武田一夫 社会学部1980年卒	和歌山県校友会 会長 大岩徳成 経済学部1987年卒	法友野球倶楽部 会長 小早川毅彦 経営学部1984年卒
法政大学校友会 顧問 石塚護 法学部1968年卒	法政大学校友会南九州ブロック 沖縄県校友会副会長 理事 鈴木洋一 経済学部1978年卒	法政大学2号評議員 福井県校友会 会長 北川頼子 経営学部1975年卒	島根県校友会 会長 佐々木雄三 経営学部1967年卒	法政大学体育会空手部拳友会 会長 竹本泰久 文学部1986年卒
法政大学校友会 顧問 坂戸俊夫 経営学部1969年卒	法政大学校友会学部同窓会ブロック理事 理系同窓会相談役 松谷勝 工学部1971年卒	埼玉県校友会 会長 高田勝 文学部1974年卒	岡山県校友会 会長 西康宏 経営学部1979年卒	法泳会 会長 春木亮一
法政大学校友会南東北ブロック 理事 高橋順弘 経済学部1976年卒	法政大学校友会付属校ブロック理事 法政大学高等学校同窓会 会長 高村嘉昭 経済学部1970年卒	栃木県校友会 会長 齋藤孝雄 法学部1979年卒	広島県校友会 会長 齋藤周 工学部1978年卒	法政大学富士見射友会 会長 吉田裕司 社会学部1980年卒
法政大学2号評議員 法政大学校友会関越ブロック理事 新潟県校友会 会長 宮下好文 法学部1978年卒	法政大学校友会職域第1ブロック理事 文化・フジタオレンジ法友会会長 文化シヤッター株式会社 代表取締役 会長 潮崎敏彦 経済学部1970年卒	山梨県校友会 会長 大沢正聖 経済学部1986年卒	福岡県校友会 会長 中村勇治 法学部1993年卒	交響楽団一九二一年創立 法政大学交響楽団 OB・OG会
法政大学校友会東京ブロック理事 東京都校友会 会長 小田島英一 法学部1975年卒	法政大学校友会職域第2ブロック理事 一般財団法人法政大学経営者懇談会 理事長 金子正之 工学部1964年卒	長野県校友会 第32回全国卒業生の集い 長野大会 会長 木内均 法学部1988年卒	熊本県校友会 会長 玉田光識 経営学部1976年卒	法政大学OB・OG会
法政大学校友会参与・財務部会長 南関東ブロック理事 神奈川県校友会 会長 北村武 経済学部1974年卒	法政大学校友会法政工業の会ブロック 公認会計士法友会 理事長 石川正敏 経営学部1983年卒	岐阜県校友会 会長 井納誠 工学部1972年卒	宮崎県校友会 会長 甲斐嘗一郎 工学部1971年卒	
法政大学校友会中部ブロック理事 愛知県校友会 会長 山本英次 法学部1972年卒	法政大学校友会スポーツ第1ブロック 法政大学体育会アメリカンフットボール部OBOG会 理事 大橋佳哉 法学部1989年卒	三重県校友会 会長 服部喜久男 経済学部1976年卒	沖縄県校友会 会長 普久原啓之 社会学部1984年卒	

謹賀新年

法政大学並びに法政大学校友会の
さらなる発展を祈念いたします。

法政大学学部同窓会協議会

法学部同窓会

会長 池上 貞純

<https://hoseinet.or.jp/partner/hougakubu/>

文学部同窓会

会長 清原 孟

事務局 F A X 03-3264-9840

経済学部同窓会

会長 村田 紀敏

<http://hoseikeiyukai.jp/>

社会学部同窓会

会長 中 正美

<http://www.hoseisoc-dousoukai.jp/>

理系同窓会

会長 村主 康和

[http : //133.25.196.100](http://133.25.196.100)

経営学部同窓会

会長 倉林 昭浩

<http://www.houseikeidousoukai.com/>



法政大学
HOSEI University

出身学部の同窓会にも、ぜひ注目とご参加を！



進取の気象

(株)古湧園 代表取締役会長
新山 富左衛門さん
(にいやま・とみざえもん)



プロフィール

株式会社古湧園 代表取締役会長。1977年法政大学経営学部卒業。入社後、東京事務所長を経て2010年に社長就任、現在は会長として「ホテル古湧園 遥」をはじめ「十五万石」「YUI」「みかんの木」「道後足湯カフェ坊っちゃん」などを展開。道後温泉旅館協同組合相談役理事(前理事長)、日本旅館協会四国支部相談役、愛媛県経済同友会特別幹事、道後温泉コンソーシアム理事長として地域観光の発展に尽力。創業106年の古湧園を2019年に全面建替えし、愛媛県初の環境対応型ホテルとしてスクラップ&ビルドしてグランドオープン。

2024年「黄綬褒章」および「愛媛新聞賞」、2025年「愛媛県功労賞」を受賞。

道後を未来へ——法政で育んだ学びと挑戦心

法政で出会った「進取の気象」

「私の学生時代には、まだパソコンはありませんでしたが、『超小型コンピュータ入門』という講座を履修しました。テープに微分積分を打ち込んで富士山の体積を計算する——そんな課題が出る、当時としては最先端の授業でした」

法政大学には日立製のコンピュータ「ハイテック10」が設置されており、10畳ほどの部屋に集積回路がぎっしりと並んでいたという。

「“超小型”といっても、今のスマートフォンの半分程度の能力でした。当時はプログラミングがブームでしたが、私は文系の道に進み、経営を学んで家業を継ぐことになりました。もしそのままITや経済研究を続けていたら——と思うこともあります。旅館業を継いだのは運命だったのでしょうか。父は非常に厳しい人で、よく鍛えられましたね」

「人生とは本当に不思議なものです」と穏やかに笑う。

コロナ禍の危機に

——“道後を守る”使命感で動いた

2019年、「ホテル古湧園 遥」をグランドオープンした矢先に、新型コロナウイルス感染症が発生した。

「当時、愛媛県知事とともにカンボジアでの調印式に参加する途中、ベトナム・ダナンに立ち寄ったのですが、そこに武漢からの観光バスが何台も来ていました。調べてみると、未知の感染症が広がっていると。まさに“新型コロナ”との最初の出会いでした」

帰国後、感染は全国へと拡大。

「2018年には90万人だった道後の宿泊客が、2022年には50万人を割り込みました。観光業にとってはまさに死活問題でした」

理事長として保健所と連携し、連日感染対策の会議を実施。

「保健所の人員が足りなくなったため、私自身が感染防止の知識を学び、組合講習会にて臨時の講師をさせていただきました。何とか道後地区ではパンデミックを起こさず、2023年には宿泊客も70万人まで回復しました」

コロナ禍を通して、安全安心のまちづくりの重要性を痛感し、各旅館に「防災士」を配置。また、災害時通信の途絶に備えて「アマチュア無線技士各施設1名以上配置」育成も進めている。

「みんなで道後を守る——それが私の願いです」

道後温泉、全国第2位に

——“街全体がひとつの旅館”

2024年、「第38回にっぽんの温泉100選」で道後温泉は見事第2位を獲得。

「長年“西の横綱”と言われながら3位が続いていましたが、ついに草津温泉に次ぐ第2位になりました」

道後温泉本館が5年半の保存修理工事を終え、グランドオープンを迎えたことや、地域全体での努力が実を結んだ。「道後全体をひとつの旅館と考えました。伊予鉄道・道後温泉駅が玄関、商店街がロビー、各旅館が個性ある客室、そして「道後温泉本館」や「別館・飛鳥乃湯泉」「椿の湯」をメインと

位置づける——そんな発想で街づくりをしてきたのです」

その功績が認められ、2024年には「愛媛新聞賞」、さらに「黄綬褒章」を受章、2025年秋には、「愛媛県功労賞」を受賞。

法政スピリットを胸に

——温泉文化を世界へ

新山氏は現在、「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産全国推進協議会から「温泉文化大使」に任命され、日本の温泉文化を世界に伝える活動を行っている。

また、四国の「お遍路道」をユネスコ世界遺産に登録する取り組みにも尽力中だ。

「全長1,400キロの“お遍路道”は、ヨーロッパの『祈りの道』と同じ距離です。四国の自然と“お接待の心”を、世界に知ってもらいたいですね」

災害復旧のため、首相官邸へ

2018年の西日本豪雨災害の際には、被害の大きかった愛媛・高知のみが観光庁の観光支援復興周遊割を受け、香川・徳島は対象外となっていた。

「四国全体で復旧すべきだ、観光は面で」と考えた新山さんは、当時の安倍総理・菅官房長官に直談判。

「陳情の際、『私も法政出身です』と伝え、菅官房長官から『関係省庁に話しておきます』との言葉をいただきました。翌日には、四国4県すべてが指定を受けることに。あの時の安堵と感謝は忘れられません」

働きやすい旅館づくり、持続する街づくりへ

「道後温泉本館・別館飛鳥乃湯泉・椿の湯」を統括管理する「道後温泉コンソーシアム」理事長として、約300人の従業員を率いる。

「朝6時から夜24時までの営業ですから、人手の確保は大変です。そこで、組合員の協力を得て『道後ゆのさと保育園』を設けていただき、女性も安心して働ける環境ができました。旅館や商店街も人材が戻ってきました」

「道後温泉本館、別館飛鳥乃湯泉、椿の湯を中心に、温泉街全体が輝き続ける。そのための仕組みづくりを続けていきます」

結びに——“法政の学び”を糧に

「法政大学で身につけた“進取の気象”が、私の原点です。これからも挑戦を恐れず、地域とともに歩んでいきたい」



【インタビューを終えて】

地域の未来を見据え、歩みを止めず挑戦を重ねてきた新山さん。その姿勢は、まさに法政が掲げる「自由と進歩」の精神を体現するものでした。幾多の困難を乗り越え、道後温泉を守り育ててきた功績が、黄綬褒章や愛媛新聞賞、愛媛県功労賞といった栄誉に結実したことは、多くの校友にとって誇りです。静かな語り口の奥にある信念と情熱の灯が、次代を照らしていると感じました。(広報部会 石毛利雄)

本の散歩道

『家族になろうね 特別養子縁組で子どもを迎えて』



奥田哲平 著

中日新聞社(記者)
2001年社会学部卒

本書は本校社会学部を卒業し、中日新聞記者となった筆者が、不妊治療を経て「赤ちゃん縁組」に出会い、特別養子縁組を通じて親になるまでの軌跡と里親制度の現状をつづりました。縁組制度の詳細な解説とともに、避けて通れない真実告知や子どものルーツ探し、生みの母との関わりなど、さまざまな養子縁組家庭の実例を紹介。

すべての子どもたちが、家庭の愛情に包まれ、健やかに育ってほしいと願う人たちに届ける一冊です。

大ヒット映画『国宝』映画評

吉田修一氏の傑作小説『国宝』が、東宝配給により映画化され、歴史的な大ヒットを記録している。

興行収入は2025年10月13日(月)時点で162億円を突破。邦画歴代1位『踊る大捜査線 THE MOVIE 2』(173.5億円)に迫る勢いだ。

原作者の吉田修一氏は、我が法政大学経営学部の卒業生。『悪人』『怒り』など東宝で映画化された作品はいずれも話題作となり、現代日本文学を代表する作家として母校の誇りである。

任侠の一門に生まれた立花喜久雄が、歌舞伎役者として「国宝」を目指す波乱万丈の物語。栄光と挫折、信頼と裏切りを経て成長する姿は、芸道に生きる者の孤高と情熱を見事に描く。

映画は原作の重厚な人間ドラマと歌舞伎の華麗な世界観を圧倒的な映像美で表現。

「芸道を極める」という普遍的テーマは、法政大学の「自由と進歩」の精神にも通じる。

母校が輩出した稀代の作家による、日本映画史に残る傑作をぜひ劇場でご覧いただきたい。

※取材協力:東宝株式会社勤務 井上雄仁氏(2021年社会学部卒)。ご協力に感謝いたします。

28年ぶりの栄冠！

法政大学体育会ソフトテニス部 全日本大学対抗選手権で悲願の優勝 創部90周年の節目に刻んだ、誇り高き金字塔



悲願の28年ぶり 優勝に挑む

体育会ソフトテニス部は2024年に創部90周年を迎えました。2025年3月1日には記念祝賀会が開催され、廣瀬前総長をはじめ多くのご来賓をお迎えし、全日本大学対抗選手権での優勝を誓いました。

チームを支えた 努力と絆

しかし、春季リーグ戦、東日本大会、そしてリーグ戦の結果に基づき出場する全日本大学王座決定戦のいずれの大会でも、日本体育大学に敗れ、惜しくも準優勝という結果が続いていました。今大会も順調に勝ち進めば決勝で日体大と対戦することが予想されてお

り、その決戦に向けて入念な準備を重ねてきました。酷暑の中、選手たちはさまざまなプレッシャーを抱え

ながらも、一戦一戦集中して勝利を重ね、ついに決勝の舞台へと駒を進めました。決勝戦でチームに勢いをもたらしたのが、4年生の森川亮介・広岡大河ペアです。日体大の大將ペアとの死闘を制し、チームに貴重な1勝をもたらしました。日没順延となった翌日の試合でも、相手にマッチポイントを抑えられながらも逆転勝利を収め、悲願の優勝を掴み取りました。優勝の瞬間、喜びと達成感に満ちた学生たちの姿を目にし、彼らの努力が報われたことに深い感慨を覚え、学生たちが掲げた目標を実現できたことは、部としても大きな喜びです。

未来へつなぐ挑戦

来年度は連覇を目指し、さらなる高みを目指して活動してまいります。「できることを日々地道に、一歩ずつ進む」という姿勢を忘

れず、学生たちの目標と夢の実現を、スタッフ一同全力で支えていきたいと思います。今後とも、温かいご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。（監督 高橋和孝）



高橋 和孝

（たかはし かずたか）
学歴：長野県松本県ヶ丘高等学校卒業
法政大学スポーツ健康学部スポーツ健康学科 卒業
筑波大学大学院 人間総合科学研究科コーチング学専攻（3年制博士課程）修了
博士（コーチング学）
現職：日本女子大学 家政学部児童学科 助教
ソフトテニス指導歴：
2016年4月～2019年3月 法政大学ソフトテニス部 コーチ
2023年1月～現在 全日本ソフトテニスナショナルチーム アナリスト
2025年4月～現在 法政大学ソフトテニス部 監督

フェンシング

女子サークルの未来を 切り拓く 駒路・横田 の同期コンビに注目

全日本インカレで準優勝を果たした女子サークルチーム。その中心にいるのが、個人戦で関東インカレ準優勝の駒路ひかる（文学3年）と、全日本インカレ準優勝の横田彩未（文学3年）の同期2人だ。個々の実力はもちろん、互いに高め合う関係がチームの原動力となっている。



駒路は冷静な分析力が持ち味。相手の動きを見極めながら落ち着いた試合運びを見せ、チームに安心感をもたらす。一方の横田は、粘り強さと気迫あふれるプレススタイルが魅力。どんな状況でも最後まで諦めない姿勢でチームを鼓舞する。団体戦でも両者は随所で存在感を発揮し、要所で流れを引き寄せる活躍を見せた。

全日本インカレ後のインタビューで駒路は、「横田の実力はもちろん、互いに高め合う関係がチームの原動力となっている。」と語った。

今年の関東インカレでは、200m・400m自由形の両種目で自己ベスト更新・大会新記録で優勝。さらに400m自由形では法政記録も更新し、まさに記録尽くしの大会となった。

9月のインカレで由形の両種目で自己ベスト更新・大会新記録で優勝。さらに400m自由形では法政記録も更新し、まさに記録尽くしの大会となった。

水泳

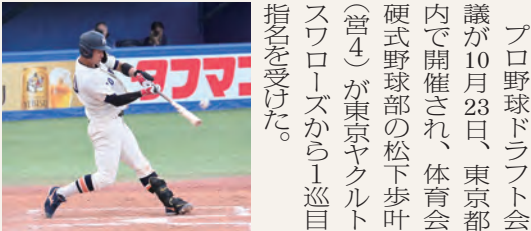
ラストイヤーにける 思い 岡村梨香、エースとして導く集大成

法政大学水泳部の女子エース、岡村梨香（スポーツ3年）。八王子学園八王子高校時代には、インターハイ400m自由形で2連覇を達成するなど圧倒的な強さを誇った。大学入学後もコンスタントに大会へ出場し、数々の表彰台を経験してきた。



も200m自由形、4×200mフリーリレー（第1泳者で銅メダルを獲得。昨年シード落ちを経験した女子チームが総合4位でシード権を奪還する原動力となった。）
インカレ終了後、水泳部は新スローガン「輪翔」を掲げ再スタートを切った。岡村はまさにその中心として、さらなる高みを目指す。エースとして迎えるラストイヤー、彼女がどのような泳ぎでチームを牽引していくのか―その姿に注目が集まる。（齋藤凌・社会学3年）

法大の4番・松下歩叶、 ヤクルトドラフトの栄誉 歓喜の瞬間、市ヶ谷に響いた歓声！



プロ野球ドラフト会議が10月23日、東京都内で開催され、体育会硬式野球部の松下歩叶（営4）が東京ヤクルトスワローズから1巡目指名を受けた。

運命の瞬間、市ヶ谷キャンパスが歓喜に包まれる

市ヶ谷キャンパスに設けられた特設会場では、共に戦ってきた野球部員たちが固唾をのんで見守る中、運命の瞬間を待った。

自身の名前が1人目で呼ばれると、会場には大きな拍手と歓声が沸き起こる。松下は一瞬、実感のない表情を浮かべたが、やがて安堵と喜びが入り混じった笑顔に変わり、最後は力強いガッツポーズを見せた。

チームの要として、苦難と成功の両方を味わってきた男がついに報われた瞬間だった。

ドラフト1位でプロへ ――努力が実を結んだ瞬間――

指名後の会見で松下は、「この一年間ずっと『ドラフト1位でプロの世界に行く』という目標を持ってやってきたので、非常に嬉しい気持ちでした。打点を多く稼ぎ、チームを勝たせられるバッターになりたいです」と力強く抱負を語った。

着実な成長と飛躍、大学野球界を代表する打者へ

1年秋にリーグ戦デビューを果たすと、2年春には初安打を記録。2年秋から3年秋にかけて3期連続でベストナインに選出され、3年秋には5本塁打を放つなど打撃で大きく成長した。

日本代表主将としての 経験が生んだ自信

3年・4年時には大学日本代表にも選出され、今夏の日米大学野球選手権では主将としてチームを牽引。全勝優勝を果たし、大会MVPにも輝いた。

慣れ親しんだ神宮で
新たな一歩を

下は慣れ親しんだ神宮球場でプロとして新たな一歩を踏み出す。

打撃と守備、二刀の魅力 でプロの舞台へ

持ち味は、引っ張り方向への強烈な打球を放つ長打力と、高い弾道を描く打撃センス。そしてアクロバティックな守備だ。大学最終戦となった東大3回戦でも、打った瞬間それと分かる本塁打を放ち、守備では鋭い三塁線の打球に飛び込み、強肩でアウトにするなど存在感を示した。

着実に夢へと歩みを重ね、ついにその扉を開いた松下歩叶。彼のこれからの活躍から、目が離せない。（黒岩なつ子・キャリア1年）

◆◆ 注目の女子アスリート特集 ◆◆

バドミントン 新星ペア、全国に躍進！牧野・上野組の挑戦が止まらない

今年結成されたばかりのバドミントン女子ダブルス、牧野美涼（経営3年）・上野凛（経営1年）ペアが急速に頭角を現している。

7月の関東学生バドミントン選手権大会で準優勝、さらに10月の全日本学生選手権でも準優勝と、結成間もないながらも全国屈指の実力を証明した。

試合中も笑顔を絶やさず、どんな接戦でも粘り強く戦う姿が印象的。リードを許しても冷静に立て直し、逆境を力に変える強さを持つ。



牧野は俊敏なフットワークを生かしたオールラウンダーで、攻守両面でコート

を支配。上野は高精度のスマッシュとレシーブを武器に、相手の動きを見極める判断力が光る。

女子バドミントン部は、これまでに1部リーグで10回、インカレ団体で4回の優勝を誇る名門だ。牧野・上野ペアの台頭が、チーム

（金山通南・法学3年）

法政大学ボクシング部 創部100周年記念パーティーを開催

―不撓不屈の精神で、次の100年へ―

法政大学ボクシング部 創部100周年を盛大に祝う

法政大学ボクシング部の創部100周年を記念する祝賀会が、12月6日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において盛大に開催されました。

当日は、OB・OG、現役部員、関係者など約200名が参集し、長きにわたる歴史と伝統を振り返りました。

我が法政大学ボクシング部は、全日本選手権大会で延べ41人、国体で36人のチャンピオンを輩出するなど、日本を代表する強豪校として知られています。

セロナ大会、森脇唯人氏（2021年東京大会）が出場。

また、プロボクシングの世界では、木村悠氏が第35代WBC世界ライトフライ級王者、井上岳志氏がOPBFおよびWBO・A Pスーパーウェルター級王者となるなど、数多くの実績を残しています。

2025年度の体育会ボクシング部は、1部リーグで第3位の成績を収めています。



祝辞と回顧でつづる100年の歩み

開会にあたり、ダイアナ・コー総長より祝辞が述べられました。引き続き、竹中

宣雄校友会会長、徳安保健体育センター長に祝辞をいただきました。

続いて、OB代表からは往年の試合や恩師との思い出など、歴史を彩るエピソードが語られ、会場は当時を懐かしむ温かな雰囲気になりました。

また、ボクシング部OBで歌手のTEE氏による歌唱も披露され、会場の拍手を誘いました。

池本ボクシング部OB会副会長の発声による乾杯の後、出席者全員の唱和が響き渡り、祝賀

会は盛大に幕を開けました。

現役部員の誓いと世代を超えた交流

現役部員を代表して、主将の松久さんが「先輩方の努力と伝統に恥じぬよう、一戦一戦を大切に戦っていきます」と決意を述べました。

懇親会では、当時の写真や映像が展示・上映され、OB・OGと現役部員との交流が世代を超えて深まりました。

「不撓不屈の精神で次の100年へ」

創部以来受け継がれてきた不撓不屈の精神を胸に、法政大学ボクシング部は次の100年に向けて新たな一歩を踏み出しています。

（法友体育会常務理事 体育会ボクシング部前監督 頼川 徳夫）

2025年度体育会各部の主な成績

陸上競技部

第94回日本学生陸上競技対校選手権大会男子砲丸投げ

【優勝】 山田暉斗（経済学部3年）

水泳部

「第101回日本選手権水泳競技大会（アーティスティックスイミング）」デュエット・フリールレーティン

【優勝】 石井小夏（スポーツ健康学部1年）

【優勝】 アクロバティックルレーティン

【優勝】 井崎妃楓（スポーツ健康学部1年）

ソフトテニス部

「第80回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会」男子

【優勝】 菊山太陽（経済学部3年）

「第79回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス大会」男子団体戦

【優勝】

「第67回全日本学生ソフトテニスシングル選手権大会」

【優勝】 橋場柁一郎（経済学部3年）

「第19回チャイナカップ国際ソフトテニス選手権」国別対抗戦

【優勝】 菊山太陽（経済学部3年）

橋場柁一郎（経済学部3年）

男子ダブルス・ミックスダブルス

【優勝】 菊山太陽（経済学部3年）

男子シングルス

【優勝】 橋場柁一郎（経済学部3年）

ボート部

「第103回全日本ローイング選手権大会」軽量級女子ペア

【優勝】 我妻奏英（経営学部4年）

渡邊心寧（経営学部3年）

フェンシング部

「2025アジア選手権大会」男子サーフル団体

【優勝】 津森志道（経営学部4年）

レスリング部

「全日本学生選手権」女子フリースタイル68kg級

【準優勝】 松山楓（国際文化学部3年）

バドミントン部

「第76回全日本学生バドミントン選手権大会」男子ダブルス

【優勝】 櫻井煌介（経済学部3年）

南本和哉（経済学部3年）

ボート部

「第52回全日本大学ローイング選手権大会」男子フォア

【優勝】 村上陽亮（法学部2年）

大畑奏輔（法学部2年）

栗原知成（法学部4年）

美藤晃佑（経営学部2年）

モーターボート・水上スキー部

「第70回桂宮杯 全日本学生水上スキー選手権大会」男子トリック部門

【優勝】 小泉心（人間環境学部4年）

相撲部

「第103回全国選手権大会」団体戦

【第3位】

重量挙げ

「第85回全日本ウェイトリフティング選手権大会」55kg級

【優勝】 米満庸介（文学部4年）

剣道部

「第64回全日本女子剣道選手権大会」

【優勝】（3度目）高橋萌子（キャリアデザイン学部 2016年3月卒）

法友体育会設立60周年記念 ― 法政大学体育会の歩み ―



法政大学体育会は、40の運動部によって構成され、日々、多くの学生が各競技分野で研鑽を重ねています。

しかし、その全容を把握している人は決して多くはありません。知名度の高い競技のみならず、その他の競技においても顕著な成果を挙げ部が少なくなく、その活動の裾野の広さには改めて感嘆させられます。

こうした体育会の活動を支え続けてきた「法友体育会」は、本年、設立60周年という節目

を迎えました。これを記念し、11月22日、薩埵ホールにおいて記念祝賀会が挙行されました。

当日は、体育会への長年の貢献を讃え、特別功労賞ならびに各部功労賞の表彰が行われたほか、大学、校友会、後援会の代表より祝辞が寄せられました。

今後の一層の発展を誓い合う、誠に意義深い催しとなりました。

今回の祝賀会は、宴席を設けずに行われました。それは「選手を第一に考える」という法友体育会の理念を体現したものであり、簡素ながらも厳粛かつ温か

法政スポーツコミュニティ（HSC）に参加して 母校となった法政で見つけた応援の幸せ

やったー！法政だー！！

私と法政との出会いは、息子・宏樹の中学受験から始まりました。私立小学校に電車通学していた息子が、さらに中学受験をさせ

ることは時間を奪うことであり、野球をやっていた息子に我慢をさせるために交わした約束――「法政に合格したら、ずっと野球をしよう」。

そして感激の合格。迎え入れた入学式で校長先生が述べられた「子供の母校は我が

母校」という言葉が、今も胸に残っています。

野球部に入部し、私の応援生活も始まりました。高校2年の秋の大会は、ブラ

スバンドもチャモいない神宮第二球場。父母の会で声を合わせ、チャンス法政を歌いました。しかし翌年は

止となり、苦しい日々が続きました。大学進学後は寮生活。私は後援会に入り、HSCで

息子のいる野球部ではなく、あえて他の部活動を担当しました。いわゆるメジャーではない部活を支援しようと思ったからです。

息子は全国の名選手に囲まれながら、4年間、一度の登板機会にも恵まれない投手でした。しかし、ある

とき「息子さんは仲間の勝利を信じ、誰よりも本気で応援している」と聞かれました。その言葉に胸が熱

学生たちは、どの部活であって一所懸命です。出場機会のない選手であって、仲間を思いやり支える姿があるのです。――頑張

（応援イベント実施部会 担当部長 林 弘行）



